

委 託 契 約 書 (案)

委 託 業 務 名	広島市立舟入市民病院臨床特殊検査業務（単価契約）
履 行 場 所	広島市中区舟入幸町１４番１１号 広島市立舟入市民病院
契 約 期 間 履 行 期 間	契約締結の日から令和１１年３月３１日まで 令和７年４月１日から令和１１年３月３１日まで
委託契約金額	別紙記載単価のとおり
支 払 方 法 等	広島市立病院機構委託契約約款のとおり。
契 約 保 証 金	
そ の 他 の 契 約 事 項	広島市立病院機構委託契約約款のとおり。
特 約 条 項	１ 契約保証金、違約金等の算定基礎となる契約金額予定総額は、 金 円（うち取引に係る消費税及び地方消費税相 当額 金 円）とする。 ２ 契約締結の日から令和７年３月３１日までの間を業務開始に向けた準備期間とし、その際の費用については受注者の負担とする。
適用除外事項	広島市立病院機構委託契約約款第６条、第１１条第２項
管 轄 裁 判 所	広島地方裁判所

上記の委託業務について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の広島市立病院機構委託契約約款によって公正な委託契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この契約の証として本書２通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自１通を保有する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

発注者 広島市中区基町７番３３号
地方独立行政法人広島市立病院機構
理事長 竹 内 功

受注者

別紙（契約単価）

番号	項目名称	単価（税込）（円）	うち消費税及び地方消費税（円）	年間予定数量（件）
1	アルドラーゼ			41
2	マグネシウム			48
3	血清銅			31
4	LD(LDH)ーアイソザイム			7
5	アデノシンデアミナーゼ・穿刺液			13
6	CKアイソザイム			7
7	抗血小板抗体			1
8	血清補体価(CH50)			109
9	ハプトグロビン型判定あり			10
10	セルロプラスミン			5
11	トランスフェリン			25
12	C3			95
13	C4			86
14	免疫電気泳動(M蛋白同定)			92
15	不規則性抗体			4
16	水痘帯状ヘルペス:CF			2
17	サイトメガロ:CF			1
18	総胆汁酸			7
19	風疹:HI			64
20	免疫電気泳動(BJP同定)			36
21	ASO定量			38
22	EBVーVCAーIgG			86
23	抗平滑筋抗体			1
24	抗ミトコンドリア抗体			5
25	単純ヘルペス1型:NT			2
26	ムンプス:HI			2
27	単純ヘルペス2型:NT			2
28	EBVーVCAーIgM			85
29	EBVーVCAーIgA			5
30	EBVーEADRーIgG			11
31	EBVーEBNA			74
32	7染色体(7モノソミー、7q31欠失)			1
33	浸透圧・血清			8
34	浸透圧・尿			14
35	リチウム:原子吸光法			4
36	第8因子活性			4
37	第9因子活性			4
38	風疹IgG:EIA			29
39	風疹IgM:EIA			17
40	NAG			95
41	1 α , 25ー(OH)2ビタミンD			1
42	プロラクチンー前			7
43	カテコールアミン3分画			43
44	CA125			23
45	アンジオテンシン1転換酵素			18
46	DHEAーS			1
47	テストステロン			5
48	Cペプチド・尿			3
49	PTHーインタクト			5
50	第8因子様抗原(VW因子抗原定量)			2
51	プロテインC活性			4
52	ミオグロビン・尿			2
53	プレアルブミン			37

54	レチノール結合蛋白		14
55	SCC抗原		33
56	ケトン体分画・静脈血		4
57	NSE		20
58	CA15－3		10
59	インスリン		14
60	筋炎関連抗体セット		6
61	病理特殊染色標本作製A1枚		1
62	病理特殊染色標本作製B1枚		2
63	エラスターゼ1		2
64	第2因子活性		4
65	アミノ酸分画		10
66	細胞診		2
67	抗カルジオリピン抗体IgG		11
68	乳酸		23
69	ピルビン酸		19
70	リパーゼ		13
71	ビタミンB2		1
72	ビタミンB12		59
73	葉酸		58
74	ニトラゼパム		4
75	クロナゼパム		17
76	ジゴキシン		17
77	リドカイン		3
78	尿中銅		2
79	垂鉛		57
80	垂鉛・尿		2
81	PIVKA－2:CLIA		33
82	第5因子活性		3
83	第7因子活性		2
84	第10因子活性		3
85	第11因子活性		2
86	第12因子活性		2
87	第13因子定量		46
88	テイコプラニン		1
89	IgE(RAST)		928
90	IgE(RIST)		446
91	抗DNA抗体:RIA		29
92	抗胃壁抗体		2
93	ミオグロビン		4
94	第8因子インヒビター		2
95	第9因子インヒビター		1
96	抗CCP抗体		47
97	インスリン抗体		1
98	MLA45CDa*CDb		3
99	MLA45CDc*CDd		3
100	HBe抗原:CLIA		6
101	HBe抗体:CLIA		6
102	IgM－HBc抗体		4
103	パルボウイルスB19IgM抗体		14
104	MLA45CDe*CDf		3
105	MLA45CDg*CDh		2
106	オリゴクローナルバンド:IEF		8
107	TRACP－5b		1
108	サリチル酸(アスピリン)		4

109	DUPAN—2		2
110	アスペルギルス抗原：EIA		44
111	LH		8
112	FSH		8
113	Cペプチド		33
114	コルチゾール		61
115	ACTH		20
116	CD45CDa * CDb		1
117	CD45CDc * CDd		1
118	CD45CDe * CDf		1
119	CD45CDg * CDh		1
120	CD45CDi * CDj		1
121	単純ヘルペスIgG		19
122	単純ヘルペスIgM		19
123	水痘帯状ヘルペスIgG：EIA		41
124	水痘帯状ヘルペスIgM：EIA		9
125	麻疹IgG：EIA		52
126	麻疹IgM：EIA		22
127	ムンプスIgG：EIA		39
128	ムンプスIgM：EIA		11
129	MLA45CDi * CDj		1
130	CD45CDk * CDl		1
131	MLA45CDk * CDl		1
132	悪性リンパ腫解析／CD45		15
133	リウマチ因子定量		35
134	α 2PI—プラスミン複合体		3
135	ツツガム—カトーIgM：FA法		1
136	CA72—4		2
137	ガストリン		8
138	ジアゼパム		4
139	SPan—1		1
140	KMT2A(11q23転座)		1
141	ゾニサミド		64
142	クロバザム(デスメチルクロバザム)		72
143	PA—IgG		5
144	トロンビンAT複合体		4
145	ビタミンC		1
146	鉄染色—マルク		11
147	可溶性フィブリンモノマー複合体定量		2
148	クラミジアトラコマチスIgA&IgG		4
149	抗トリコスポロン・アサヒ抗体		2
150	ヒアルロン酸		3
151	アミノ酸分画・尿		1
152	ヒアルロン酸・その他		2
153	エトスクシミド：EIA		26
154	HIV抗原・抗体(スクリーニング)		41
155	リウマチ因子—IgG		45
156	シクロスポリン・血液		45
157	ジストロフィン遺伝子解析		4
158	エンドキシン定量：ES		2
159	多発性骨髄腫解析／CD38		8
160	フォン・ウィルブランド因子		3
161	サイトメガロウイルス—DNA定量		1
162	ニューモシスティスカリニ：PCR		1
163	単純ヘルペスウイルス—DNA定量		9

164	尿中トランスフェリン		7
165	抗カルジオリピン β 2GP1複合体抗体		2
166	抗アセチルコリンレセプター結合抗体		5
167	HCV-RNA(検診)		1
168	TARC		13
169	染色体検査: マルチカラーFISH法		1
170	ヘリコバクター・ピロリ抗体		28
171	シフラ		115
172	グリコアルブミン		10
173	クリプトコッカスネオフォルマンس抗原		12
174	サイトメガロ: アンチゲネミア		31
175	MAC同定: TaqManPCR		20
176	BCR-ABL1(9;22転座)		1
177	クラミジアT: TaqManPCR		1
178	骨型アルカリフォスファターゼ		1
179	サイログロブリン		2
180	マトリックスメタロプロテイナーゼ-3		17
181	MAF-IGH(14;16転座)		4
182	HCV群別(グルーピング)		3
183	タクロリムス		17
184	FGFR3-IGH(4;14転座)		2
185	ポリコナゾール		2
186	ALPアイソザイム		4
187	MYC(8q24転座)		1
188	結核菌群迅速同定(結核菌群抗原)		2
189	MYC-IGH(8;14転座)		1
190	好中球BCR-ABL1(9;22転座)		1
191	T細胞B細胞百分率: フローサイト		3
192	ProGRP		95
193	リンパ球幼若化試験-1薬剤		6
194	CMV-DNA定量・リンパ球		2
195	白血病・リンパ腫解析/CD45		14
196	CD4		7
197	CD8		7
198	WT1mRNA定量・血液		66
199	ツツガ虫-ギリアムIgM: FA		1
200	ツツガ虫-カープIgM: FA		1
201	リンパ球幼若化試験-2薬剤		3
202	リンパ球幼若化試験-3薬剤		1
203	リンパ球幼若化試験-5薬剤		1
204	ループスアンチコアグラント: dRVV		5
205	WT1mRNA定量・骨髄液		4
206	TP53(17p13.1欠失)		9
207	ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白		1
208	HBc抗体: CLIA		49
209	抗内因子抗体		1
210	肺サーファクタント蛋白D		1
211	CD4×CD8		2
212	HCVコア抗原		9
213	HCV-RNA定量: TaqMan		10
214	ミエリンベースック蛋白(MBP)		2
215	梅毒定性: RPR法		1
216	梅毒定量: RPR法		2
217	結核菌同定: TaqManPCR		1
218	NT-proBNP		70

219	Gバンド分染法－骨髓異形成症候群		11
220	Gバンド分染法－骨髓増殖性疾患		1
221	Gバンド分染法－悪性リンパ腫		10
222	Gバンド分染法－多発性骨髄腫		6
223	IgG－HA抗体		3
224	IgM－HA抗体		8
225	抗核抗体：FAT		152
226	IGH遺伝子再構成：PCR法		13
227	TRB遺伝子再構成：PCR法		10
228	TRG遺伝子再構成：PCR法		10
229	TRD遺伝子再構成：PCR法		10
230	シスタチンC：LA法		24
231	歯周病唾液検査		44
232	C1－インアクチベーター活性		1
233	プロテインS活性		3
234	IgG・尿		7
235	IgGインデックス		7
236	IgGサブクラスIgG4 (LA)		12
237	IgGサブクラスIgG2 (TIA)		2
238	レベチラセタム		298
239	ラモトリギン		106
240	トピラマート		46
241	HBVジェノタイプ判定：EIA		1
242	抗MAC抗体		47
243	ステリペントール		18
244	エストラジオール		8
245	HCV抗体(肝炎検診／ルミパルス)		1
246	ルフィナミド		1
247	百日咳菌抗体：EIA		42
248	抗BP180抗体		1
249	抗セントロメア抗体		2
250	抗Jo－1抗体：CLEIA		25
251	抗dsDNA抗体IgG：CLEIA		6
252	抗ssDNA抗体IgG：CLEIA		3
253	Viewアレルギー		19
254	抗ARS抗体		22
255	TSH刺激性レセプター抗体		19
256	(1→3)－ β －D－グルカン		93
257	TSHレセプター抗体定量		24
258	GH		7
259	ビタミンB1		5
260	抗GAD抗体		10
261	血しょうレニン活性		346
262	抗MDA5抗体		1
263	エリスロポエチン		31
264	バゾプレシン(AVP)		4
265	ペランパネル		26
266	尿中L－FABP		1
267	ラコサミド		94
268	百日咳菌核酸同定		7
269	MPO－ANCA(P－ANCA)		69
270	PR3－ANCA(C－ANCA)		66
271	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)		1
272	メタネフリン2分画・尿		1
273	パニリルマンデル酸・クレアチニン補正		5

274	ホモバニリン酸クレアチニン補正		4
275	HBV-DNA定量: TaqMan		40
276	プレセプシン		147
277	便中カルプロテクチン		37
278	カルニチン		106
279	ADAMTS13活性		1
280	C. ディフィシル毒素遺伝子検出		1
281	サイトメガロIgG: CLIA		48
282	サイトメガロIgM: CLIA		51
283	トキソプラズマ抗体IgM: CLIA		1
284	ソマトメジン-C (IGF-1)		10
285	クラミドフィラニューモニエIgA		14
286	クラミドフィラニューモニエIgG		22
287	クラミドフィラニューモニエIgM		44
288	アルドステロン: CLEIA		341
289	25-OHビタミンD(くる病)		6
290	CAP16(食物アレルギー)		67
291	CAP16(アトピー乳幼児)		27
292	CAP16(アトピー学童)		11
293	CAP16(アトピー成人)		2
294	CAP16(花粉症・鼻炎)		57
295	CAP16(アレルギー性ぜん息)		119
296	遊離L鎖 κ/λ 比 (FLC)		105
297	抗RNP抗体: CLEIA		8
298	抗Sm抗体: CLEIA		8
299	抗SS-A抗体: CLEIA		22
300	抗SS-B抗体: CLEIA		20
301	抗Scl-70抗体: CLEIA		9
302	抗ミトコンドリアM2抗体		16
303	オステオカルシン		1
304	HTLV-I抗体: CLIA		2
305	抗サイログロブリン抗体		11
306	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体		12
307	検診風疹IgG: CLEIA		13
308	蛋白分画		380
309	CMV抗原 (C7-HRP)		2
310	非結核性抗酸菌薬剤感受性試験		5
311	抗酸菌同定(質量分析)		8
312	UGT1A1遺伝子多型解析		2
313	先天性Gバンド分染法		12
314	minor BCR-ABL1定量		1
315	Major BCR-ABL1 IS		12
316	NUDT15遺伝子多型解析		2
317	JAK2V617F変異相対定量解析		4
318	T-SPOT. TB		55
319	ALK融合タンパク(高感度IHC法)		1

広島市立病院機構委託契約約款（単価 複数年契約用）

（総則）

- 第1条 発注者及び受注者は、この約款（契約書を含む。以下同じ。）に基づき、仕様書等（別添の仕様書、図面、業務に関する説明書及びこれに対する質問回答書をいう。以下同じ。）に従い、日本国の法令を遵守し、この契約（この約款及び仕様書等を内容とする業務の委託契約をいう。以下同じ。）を履行しなければならない。
- 2 受注者は、委託契約書記載の委託業務（以下「委託業務」という。）を契約書記載の履行期間（以下「履行期間」という。）内に完了（仕様書等に定めがある場合は、契約の履行の目的物の引渡しを含む。）し、発注者は、その契約代金を支払うものとする。
- 3 この約款に定める承諾、通知、承認、請求、報告、催告及び解除は、書面により行わなければならない。
- 4 この契約の履行に関して発注者と受注者との間で用いる言語は、日本語とする。
- 5 この約款に定める金銭の支払に用いる通貨は、日本円とする。
- 6 この契約の履行に関して発注者と受注者との間で用いる計量単位は、仕様書等に特別の定めがある場合を除き、計量法（平成4年法律第51号）に定めるところによるものとする。
- 7 この約款及び仕様書等における期間の定めについては、民法（明治29年法律第89号）及び商法（明治32年法律第48号）の定めるところによるものとする。

（委託業務の公共性の認識等）

- 第2条 受注者は、委託業務を行うに当たっては、委託業務の公共性を認識し、常に善良なる管理者の注意をもつて、委託業務を行わなければならない。

（経費等の負担）

- 第3条 委託業務を行うために必要な経費等は、すべて受注者の負担とする。ただし、発注者が別に定めたものについては、発注者が負担する。

（権利義務の譲渡制限等）

- 第4条 受注者は、この契約により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、あらかじめ書面により発注者の承諾を得た場合は、この限りでない。
- 2 受注者は、委託業務の全部又は一部を第三者に請け負わせ、若しくは委任してはならない。ただし、あらかじめ書面により発注者の承認を得た場合は、当該委託業務の一部を第三者に請け負わせ、又は委任することができる。
- 3 受注者は、前項の規定にのっとり、業務の一部を第三者に請け負わせ、又は委任する場合は、下請契約等（地方独立行政法人広島市立病院機構競争入札参加資格者指名停止措置要綱（平成30年7月30日施行。以下「指名停止措置要綱」という。）第1条の2第3号に規定する下請契約等をいう。以下同じ。）の締結に際し、次の各号に該当する者がその当事者として選定されることがないように、必要な措置を講じなければならない。
- (1) 地方独立行政法人広島市立病院機構物品等に係る契約の競争入札参加者の資格等に関する要綱（平成31年2月1日施行）第6条第1項各号（第3号を除く。）、第6条の2第1項又は第6条の3第1項若しくは第2項（同要綱第6条の3第1項又は第2項の場合にあっては、同要綱第6条第1項第1号の規定に相当する部分に限る。）の規定その他これらに類する発注者が定める要綱等の規定（これらに準じ又はその例によることとされる場合を含む。）により、地方独立行政法人広島市立病院機構（以下「本機構」という。）の競争入札参加資格の取消しを受けた者で、本機構の競争入札に参加することができない期間を経過しないもの
 - (2) 広島市の物品等に係る契約の競争入札参加者の資格等に関する要綱（平成9年9月12日施行）第6条第1項各号（第3号を除く。）、第6条の2第1項又は第6条の3第1項若しくは第2項（同要綱第6条の3第1項又は第2項の場合にあっては、同要綱第6条第1項第1号の規定に相当する部分に限る。）の規定その他これらに類する発注者が定める要綱等の規定（これらに準じ又はその例によることとされる場合を含む。）により、広島市の競争入札参加資格の取消しを受けた者で、広島市の競争入札に参加することができない期間を経過しないもの
 - (3) 指名停止措置要綱第2条第1項又は指名停止措置要綱第3条（広島市小規模修繕契約希望者登録制度実施要領（平成16年12月1日施行）第12条において、これらの規定の例によることとされる場合を含む。）の規定により指名停止の措置を受けた者で、当該指名停止の期間を経過しないもの
 - (4) 暴力団（広島市発注契約に係る暴力団等排除措置要綱（昭和62年11月1日施行）第2条第1項に規定する暴力団をいう。以下同じ。）、暴力団員等（同要綱第2条第2項に規定する暴力団員等

をいう。以下同じ。)、暴力団等経営支配法人等(同要綱第2条第3項に規定する暴力団経営支配法人等及び同条第4項に規定する被公表者経営支配法人等をいう。以下同じ。))又は暴力団関係者(同要綱第2条第5項に規定する暴力団関係者をいう。以下同じ。))である者

4 受注者は、前項第4号に掲げる者に該当するものを、資材、原材料等の売買その他の契約(業務を履行するために、受注者が行う資材、原材料等の売買その他の契約(下請契約等を除く。))をいう。以下同じ。))において、その相手方又は代理若しくは媒介をする者として選定することがないよう、必要な措置を講じなければならない。

5 受注者は、前3項の規定にのっとり、自ら下請負人(下請契約等の申込みを承諾した者をいう。以下同じ。))を定め、又は受注者以外の者によって下請負人が定められたときは、直ちに、全ての下請負人の商号又は名称その他必要な事項を発注者に通知するとともに、第3項各号のいずれかに該当する者がいないことについて、発注者の確認を受けなければならない。

(法令の遵守)

第5条 受注者は、委託業務を履行するに当たっては、労働関係諸法、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)その他関係法規を遵守するとともに、法令上のすべての責任を負うものとする。

(実施計画書の作成)

第6条 受注者は、委託業務を実施するための委託業務実施計画書を作成し、仕様書等に定めるところに従い、発注者に提出し、その承認を得なければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

(従業員)

第7条 受注者は、委託業務の履行に必要な数の従業員を委託業務に従事させるものとする。

2 発注者は、受注者の従業員で委託業務の処理及び管理につき著しく不適当であると認められるものがあるときは、受注者に対し、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。この場合において、受注者は、当該請求に係る事項について決定し、その結果を当該請求を受けた日から10日以内に発注者に通知しなければならない。

(現場責任者)

第8条 受注者は、委託業務に従事する従業員の中から、次に掲げる事項について受注者を代理する現場責任者を選任するものとする。

- (1) 受注者の従業員の指導監督
- (2) 仕様書等に定めのない業務の履行に係る承諾
- (3) その他この契約の目的達成に必要な事項

2 発注者は、委託業務の履行に関する委託者としての注文、指示等は受注者又は受注者の選任した現場責任者に対して行うものとする。

(臨機の措置)

第9条 受注者は、災害防止等のため必要があると認めるときは、臨機の措置をとらなければならない。この場合において、必要があると認めるときは、受注者は、あらかじめ発注者の意見を聴かなければならない。ただし、緊急やむを得ない事情があるときは、この限りでない。

2 受注者は、前項の場合においては、そのとった措置の内容について発注者に直ちに通知しなければならない。

3 発注者は、災害の防止その他契約の履行上特に必要があると認めるときは、受注者に対して臨機の措置をとることを請求することができる。

4 受注者が第1項又は前項の規定により臨機の措置をとった場合は、当該措置に要した費用のうち、受注者が契約代金額の範囲内において負担することが適当でないと認められる部分については、発注者がこれを負担する。

(検査等)

第10条 発注者は、必要があると認めたときは、受注者に委託業務に関する資料若しくは報告書を提出させ、又は受注者の委託業務の実施状況を調査し、若しくは検査することができる。

2 発注者は、前項の検査等により、必要があると認めたときは、受注者に対し、必要な措置を採ることを求めることができる。

(報告義務)

第11条 受注者は、委託業務を実施する際、次に掲げる事態が発生した場合は、直ちに発注者に報告しなければならない。

- (1) 事故が発生し、又はそのおそれがある場合
- (2) その他委託業務の履行に支障を及ぼす事態が発生し、又はそのおそれがある場合

2 受注者は、委託業務実施計画書に従った委託業務の履行ができないことが明らかになったときは、発注者に対して直ちにその理由を付した書面を提出しなければならない。

(実施報告書等)

第 1 2 条 受注者は、仕様書等に定めるところにより、発注者に対して、委託業務実施報告書を提出しなければならない。

2 発注者は、前項の委託業務実施報告書が到達した日から起算して 1 0 日以内に履行を確認するための検査を行うものとする。

3 受注者は、前項の検査に合格しないときは、直ちに委託業務の全部又は一部を履行し、発注者の検査を受けなければならない。

(委託契約金額の支払)

第 1 3 条 受注者は、第 1 2 条第 2 項又は第 3 項の検査に合格したときは、当該履行期間に係る委託契約金額(契約単価に発注数量を乗じて得た額(その額に 1 円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。))の支払を請求することができる。

2 発注者は、前項の規定による請求を受けたときは、その日から起算して 3 0 日以内に委託契約金額を支払うものとする。

(予算の減額又は削除に伴う契約の変更又は解除)

第 1 3 条の 2 第 1 3 条の規定により発注者が受注者に支払うべき金額について、翌年度以降において歳入歳出予算の当該金額について減額又は削除があった場合は、発注者は当該契約を変更又は解除することができる。

2 受注者が前項の規定による契約の変更又は解除により損害を受けることがあっても、発注者は、その損害賠償の責めを負わないものとする。

(談合行為等の措置)

第 1 4 条 発注者は、受注者が次の各号のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

(1) 公正取引委員会が、この契約に係る入札(見積合わせを含む。以下同じ。)に関して、受注者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和 2 2 年法律第 5 4 号)第 2 条第 6 項の不当な取引制限をし、同法第 3 条の規定に違反する行為がある又はあったとして、同法第 7 条又は第 7 条の 2 の規定による命令を行い、当該命令が確定したとき。

(2) この契約に係る入札に関して、受注者(受注者の役員等(広島市発注契約に係る暴力団等排除措置要綱第 2 条第 8 項に規定する役員等をいう。)、代理人、使用人その他の従業員を含む。以下この項において同じ。))が、刑法(明治 4 0 年法律第 4 5 号)第 9 6 条の 6 に規定する行為をし、これに対する刑が確定したとき。

(3) その他この契約に係る入札に関して、受注者が第 1 号又は前号に掲げる行為をしたことが明白となったとき。

(4) この契約に係る入札に関して、受注者が、刑法第 1 9 8 条に規定する行為をし、これに対する刑が確定したとき、又は当該行為をしたことが明白となったとき。

2 受注者は、前項の規定による契約の解除により損害を受けることがあっても、その損害の賠償を発注者に請求することはできない。

3 受注者は、第 1 項各号のいずれかに該当するときは、各年度の支払予定総額(消費税及び地方消費税込み。契約金額が単価となる場合は、契約単価に予定数量を乗じて得た額の総額。以下同じ。)のうち最高となる年度の契約金額予定総額の 1 0 分の 2 (同項第 4 号に該当するときは、1 0 分の 1)に相当する額を、損害金として発注者の指定する期間内に支払わなければならない。この契約の解除又は終了の後においても、同様とする。

4 第 1 項の規定によりこの契約を解除した場合において、発注者に生じた実際の損害額が前項に規定する損害金の額を超えるときは、発注者は受注者に対しその超える額についても損害賠償請求することができる。

(発注者の解除権)

第 1 4 条の 2 発注者は、受注者が次の各号のいずれかに該当するときは、相当な期間を定めてその履行の催告をし、その期間内に履行がないときは、この契約を解除することができる。ただし、その期間を経過した時における委託業務の不履行が、この契約及び取引上の社会通念に照らし軽微であるときは、この限りでない。

(1) 正当な理由なく、委託業務に着手すべき期日を過ぎてもその業務に着手しないとき。

(2) 委託期間内に委託業務を完了しないとき又は委託期間経過後相当の期間内に委託業務を完了する見込みがないと認められるとき。

- (3) 正当な理由なく、第12条第3項の履行がなされないとき。
 - (4) 第16条第3項の規定に違反したとき。
 - (5) 前各号又は次項の各号に掲げる場合のほか、この契約に違反したとき。
- 2 発注者は、次の各号のいずれかに該当するときは、直ちにこの契約を解除することができる。
- (1) 委託業務を発注者が直接行う必要が生じたとき。
 - (2) 第4条第2項から第4項までの規定に違反したとき。
 - (3) 受注者が委託業務を完了させることができないことが明らかであるとき。
 - (4) 受注者が委託業務の履行を拒絶する意思を明確に表示したとき。
 - (5) 受注者の委託業務の一部の履行が不能である場合又は受注者が委託業務の一部の履行を拒絶する意思を明確に表示した場合において、残存する部分のみでは契約をした目的を達することができないとき。
 - (6) 委託業務の性質や当事者の意思表示により、特定の日時又は一定の期間内に履行しなければ契約をした目的を達することができない場合において、受注者が履行しないでその時期を経過したとき。
 - (7) 前各号に掲げる場合のほか、受注者が委託業務の履行をせず、発注者が前項の催告をしても契約をした目的を達するのに足りる履行がされる見込みがないことが明らかであるとき。
 - (8) 暴力団、暴力団員等、暴力団等経営支配法人等又は暴力団関係者にこの契約より生じる権利又は義務を譲渡し、又は承継させたとき。
 - (9) 受注者が次のいずれかに該当するとき。
 - ア 警察等捜査機関からの通報等により、受注者が暴力団、暴力団員等、暴力団等経営支配法人等又は暴力団関係者であることが判明したとき。
 - イ 下請契約等又は資材、原材料等の売買その他の契約の締結に際し、その相手方となる事業者が、暴力団、暴力団員等、暴力団等経営支配法人等又は暴力団関係者であることを知りながら、当該事業者と当該下請契約等又は資材、原材料等の売買その他の契約を締結したと認められるとき。
 - ウ 受注者が締結した下請契約等又は資材、原材料等の売買その他の契約の相手方である事業者が、暴力団、暴力団員等、暴力団等経営支配法人等又は暴力団関係者であることが警察等捜査機関からの通報等により判明した場合（イに該当する場合を除く。）に、発注者が受注者に対して当該下請契約等又は資材、原材料等の売買その他の契約の解除を求め、受注者がこれに従わなかったとき。
- 3 受注者は、第1項又は前項第2号から第9号までの規定による契約の解除により損害を受けることがあっても、その損害の賠償を発注者に請求することはできない。
- 4 受注者は、第1項又は第2項第2号から第9号までの規定によりこの契約を解除されたときは、委託契約金額の10分の1に相当する額を、違約金として発注者の指定する期間内に支払わなければならない。
- 5 第1項各号又は第2項第2号から第9号までに掲げる事項が発注者の責めに帰すべき事由によるものであるときは、発注者は、第1項又は第2項の規定による契約の解除をすることができない。
- （解除後の処理）
- 第15条 受注者は、前2条の規定によりこの契約が解除された場合は、解除の日までに履行した委託業務の内容を書面をもって発注者に報告しなければならない。
- 2 発注者は、前項の規定による報告を受けたときは、報告を受けた日から起算して10日以内に検査を行い、検査に合格した部分に相応する委託契約金額相当額を受注者に支払うものとする。
- （契約保証金）
- 第16条 契約保証金は、受注者が、この契約に定める義務を履行したときは、返還するものとする。
- 2 契約保証金には、利息を付けない。
- 3 受注者がこの契約について履行保証保険契約を締結した場合において、当該履行保証保険契約の履行保証保険期間の終期（以下「保険期間の終期」という。）がこの契約の履行期間の最終日に至らないものであるときは、受注者は、当該保険期間の終期の日から起算して7日前の日までに、当該保険期間の終期の日の翌日から1年間又は複数年間（この契約の残余の履行期間が当該1年間又は複数年間の途中で到来する場合にあっては、当該残余の履行期間の最終日まで）を新たな期間（以下「新たな対象期間」という。）とする履行保証保険契約を締結して発注者に提出するか、又は新たな対象期間に係る契約保証金を発注者に納付するものとする。新たな履行保証保険契約を締結して提出した場合において、当該履行保証保険契約の保険期間の終期がこの契約の履行期間の最終日に至らないものであるときも、同様とする。
- 4 受注者が契約の締結と同時に納付した契約保証金（履行保証保険契約に基づき支払われる保険金及び前項の規定により受注者が納付した契約保証金を含む。）は、第14条第1項、第14条の2第1

項又は第2項第2号から第9号までの規定により契約が解除された場合においては発注者に帰属し、当該契約保証金があるとき、又はこれに代わる担保の提供が行われているときは、発注者は当該契約保証金又は担保をもって損害金又は違約金に充当することができる。

(暴力団等からの不当介入の排除)

第16条の2 受注者は、契約の履行に当たり暴力団等（広島市発注契約に係る暴力団等排除措置要綱第2条第6項に規定する暴力団等をいう。第5項において同じ。）から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに発注者へ報告するとともに、所轄の警察署に届け出なければならない。

2 受注者は、前項の場合において、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。

3 受注者は、前項の規定による排除対策を講じたにもかかわらず、履行期間内の業務完了に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と委託業務の実施計画に関する協議を行わなければならない。

4 受注者は、発注者との委託業務の実施計画に関する協議を行った結果、履行期間内の業務完了に遅れが生じると認められた場合は、次条の規定により、発注者に履行期間の延長の請求を行うものとする。

5 受注者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者へ報告するとともに、被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。

6 受注者は、前項の被害により履行期間内の業務完了に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と委託業務の実施計画に関する協議を行うものとし、履行期間内の業務完了に遅れが生じると認められた場合は、次条の規定により、発注者に履行期間の延長の請求を行うものとする。

(受注者の請求による履行期間の延長)

第16条の3 受注者は、その責めに帰することができない事由により履行期間内に業務を完了することができないときは、その理由を明示した書面により、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

(発注者による業務の執行)

第16条の4 受注者が、委託業務を履行する見込みがないときその他この契約に定める義務を履行しないときは、発注者は、受注者の負担でこれを執行することができる。この場合において、受注者は、損害を受けることがあっても、その損害の賠償を発注者に請求することはできない。

(一般的損害)

第17条 この契約の履行について生じた損害（次条第1項及び第2項に規定する損害を除く。）については、受注者がその費用を負担する。ただし、その損害（仕様書等に定めるところにより付された保険によりてん補された部分を除く。）のうち、発注者の責めに帰すべき事由により生じたものについては、発注者が負担する。

(第三者に及ぼした損害)

第17条の2 この契約の履行につき第三者に及ぼした損害について、当該第三者に対して損害の賠償を行わなければならないときは、受注者がその賠償額を負担する。

2 前項の規定にかかわらず、同項に規定する賠償額（仕様書等に定めるところにより付された保険によりてん補された部分を除く。）のうち、発注者の指示、貸与品等（発注者が受注者に貸与し、又は支給する図面その他業務に必要な物品等のことをいう。以下同じ。）の性状その他発注者の責めに帰すべき事由により生じた損害に係るものについては、発注者がその賠償額を負担する。ただし、受注者が、発注者の指示又は貸与品等が不適当であること等発注者の責めに帰すべき事由があることを知りながらこれを通知しなかったときは、この限りでない。

3 前2項の場合その他業務を行うにつき第三者との間に紛争を生じた場合においては、発注者及び受注者は協力してその処理解決に当たるものとする。

(遅延損害金)

第18条 受注者が、その責めに帰すべき理由により委託契約書に定める履行期間内に委託業務を完了することができないことが明らかになった場合において、履行期間経過後相当の期間内に完了する見込みがあるときは、発注者は、受注者から遅延損害金を徴して、履行期間を延長することができる。

2 前項の遅延損害金は、延長前の履行期間満了の日から第12条第2項又は第3項の規定による検査の合格の日までの日数1日に付き、発注者が委託業務の未履行部分に相応する委託契約金額相当額（消費税及び地方消費税込み。契約金額が単価となる場合は、契約単価に予定数量を乗じて得た額の総額）として定める額の1,000分の1に相当する額とする。

(相殺)

第18条の2 発注者は、この契約に基づいて発注者が受注者に負う金銭債務と受注者が発注者に負う金銭債務とを相殺することができるものとし、なお不足があるときは追徴するものとする。

(契約の変更)

- 第 19 条 発注者は、受注者が請け負った業務を完了するまでは、仕様書等を変更することができる。
- 2 前項の場合において、契約金額、納入期限その他契約に定める条件を変更する必要があるときは、発注者受注者協議のうえ定めるものとする。
- 3 発注者は、第 1 項に定めるもののほか、納入期限、納入場所その他契約に定める条件を、受注者と協議のうえ変更することができる。

(守秘義務)

- 第 20 条 受注者は、委託業務の履行に際して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。この契約の終了後及び解除後も、同様とする。
- 2 受注者は、委託業務の履行に当たり個人情報を取り扱う場合には、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

(補則)

- 第 21 条 この約款に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して、これを定める。

個人情報取扱特記事項

（基本的事項）

第1 受注者は、個人情報保護の重要性を認識し、この契約による業務（以下「業務」という。）を行うに当たっては、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）その他関係する法令等を遵守し、個人の権利利益を侵害することのないよう個人情報を適正に取り扱わなければならない。

（秘密の保持）

第2 受注者は、業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（従事者の監督）

第3 受注者は、業務に従事している者に対し、業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しないよう必要かつ適切な監督を行わなければならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（取得の制限）

第4 受注者は、業務を行うために個人情報を取得するときは、業務の目的の範囲内で、適法かつ公正な手段により取得しなければならない。

（目的外の利用及び提供の制限）

第5 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、業務に関して知り得た個人情報を業務の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

（再委託の禁止）

第6 受注者は、業務を行うための個人情報を自ら取り扱うものとし、発注者の承諾があるときを除き、第三者に取り扱わせてはならない。

（再委託等に当たっての留意事項）

第7 受注者は、発注者の承諾を得て業務の全部又は一部を第三者に委託（二以上の段階にわたる委託をする場合及び受注者の子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第1項第3号に規定する子会社という。）に委託をする場合を含む。以下「再委託等」という。）する場合には、再委託等の相手方に対し、発注者及び受注者と同様の安全管理措置を講じなければならないことを周知するとともに、受注者は、発注者が様式を指定する「個人情報の取扱いに関する契約書」（以下「取扱契約書」という。）を再委託先と締結し、その写しを発注者に提出すること。

（再委託等に係る連帯責任）

第8 受注者は、再委託等の相手方の行為について、再委託先と締結した取扱契約書に基づき再委託等の相手方と連帯してその責任を負うものとする。

（再委託等の相手方に対する管理及び監督）

第9 受注者は、再委託等をする場合には、再委託等をする業務における個人情報の適正な取扱いを確保するため、再委託等の相手方に対し取扱契約書に基づいて適切な管理及び監督をするとともに、発注者から求められたときは、その管理及び監督の状況を報告しなければならない。

（安全管理措置）

第10 受注者は、業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失又は毀損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

（作業場所以外での業務の禁止等）

第11 受注者は、業務の作業場所を発注者に報告するものとし、当該作業場所以外で業務を行ってはなら

ない。また、発注者が指定する場所又は当該作業場所以外に個人情報記録された資料等を持ち出してはならない。

(複写及び複製の禁止)

第12 受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、業務を行うために発注者から提供を受け、又は自ら取得した個人情報記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。また、発注者から承諾を得ている場合においても複写の数や複製の数を変更するときには改めて発注者の承諾を得なければならない。

(資料等の返還等)

第13 受注者は、業務を行うために発注者から提供を受け、又は自ら取得した個人情報記録された資料等をこの契約の終了後又は解除後、直ちに発注者に返還、又は引き渡し、若しくは発注者が指定する者の立会いのうえで作業場所の資料を削除するものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、この限りでない。

(取扱状況の報告及び調査)

第14 発注者は、必要があると認めるときは、受注者又は再委託等の相手方に対して、業務を処理するために取り扱う個人情報の取扱状況を報告させ、又は調査を行うことができる。

(事故発生時における報告等)

第15 受注者は、業務に関し個人情報の漏えい、滅失、毀損その他の個人情報の安全の確保に係る事態及びこの契約に違反する事態が生じ、又は生ずるおそれがある場合（再委託等の相手方により発生し、又は発生したおそれがある場合を含む。）は、直ちに発注者に事案の発生した経緯、想定される被害状況、情報の管理方法など発注者が必要とする内容を網羅した書面で報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。これらの場合において、受注者は、発注者から立入検査の実施を求められたときは、これに応ずるものとする。

(契約解除)

第16 発注者は、受注者が本特記事項に定める義務を履行しない場合又は法令に違反した場合には、この契約を解除することができる。

(損害賠償)

第17 業務の処理に関し、個人情報の取扱いにより発生した損害（第三者に及ぼした損害を含む。）のために生じた経費は、受注者が負担するものとする。